

## 設立総会議事録

### 1 開催日時

平成18年12月16日(土) 13:30から15:30まで

### 2 開催場所

山形市役所大会議室

### 3 会員総数(12月15日現在)

14団体, 13事業所, 35名

### 4 出席者数

約200名

### 5 審議事項(議案)

第1号議案 規約について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 平成18年度事業計画及び収支予算について

### 6 議事の経過及び結果

議長の選任についてはかり, 満場一致をもって菅野節子氏を選任した。

質疑応答がおこなわれ, すべての議案が承認された。

第2号議案附則の件 「この規約は, 平成18年12月16日から施行する」とする。

### 7 質疑応答は以下のとおり

第1号議案 規約について

(質問:A) 第10条にアドバイザーを置くことが出来るとあるが, アドバイザーの性格付け, どういう場を設定してのアドバイザーなのか。

(事務局) 事業の考え方として, 会員の皆さんに提案してもらい実践していく中で, 疑問や別な方法が考えられるときに, そちらの道で全国的エリア・東北エリアなどで既実践されている方から教えていただく。学識経験者の方で専門的な知識を有する方をお願いする位置づけを考えている。

(質問:A) 本会に必ずではなく色々な場面を想定した時のアドバイザーを入れることはないのではないか。

(事務局) 本会では, 必ずアドバイザーを設置するという位置づけではなく, 今後皆様のお力をお借りして事業を進めていく中で, 長いスパンで考えた場合に, いろんなことが想定されると思われる。その場合を想定しての提案である。

(質問:B) 市報を見てきたが, ごみ減量のいろんな話が聞けると思っていたが, そういった話はないのか。市で集めているごみの他に収集するというとか。別枠で市民がお金を出さなくてはならないのか。入会金は必要なのか。

(事務局) 会については、ごみ減量についていろんなことをみんなで話し合っているという会である。会費を徴収したり、お金を払うことでごみを集めるということでは全くない。市の補助金と、事業活動を行ったときの、企業からの協賛金などでの運営を考えている。会員の方から会費をいただいて運営するというものではない。

(質問：A) 年何回かそういう話し合いをするのか。市民の声をどのように拾い上げるかということなのか。

(回答) この会では、ごみ減量の実践活動や情報と発信の二つの柱を考えている。具体的に何をやっていくかは、会員の方から集まっていただいて、どういう視点で進めていくかを協議しながら進めていくことになる。

(質問：B) 長い間、へき地に住んでいたもので、生活の中に「もったいない」の精神が隔々までいきわたっているが、もったいないという概念はどういうものなのか。

(議長) 今後の話の中でこの件については出てくると思われる。

#### 第3号議案 平成18年度事業計画及び収支予算について

(質問：C) これだけの人間が関心を持って集まってきているが、個々の力をどのようにして組織の中に組み入れていくのか。反映させていくのか。組織的なものを明確にしてほしい。

(回答) 具体的には、今年度については、ホームページを立ち上げる。チラシなども利用し、ホームページの力だけには頼らないが、情報の発信手段の一つとして、会の運営において必要と考えている。(仮称)エコショップ認定基準検討事業においては、事業計画に書いている中身以上のことは決まっていない。消費者の立場からみるだけでなく、お店側からみてどうなのかということもふまえながらエコショップのあり方を議論していきたいと考えている。今年度は立ち上げを重視した形で、骨格作りをし、19年度の事業をどのように進めていくか運営の中で決めていただきたい。登録いただいた会員の方々には、事業に対しての意見をいただく場を考えている。それぞれの事業への参加について情報を発信していき、どんどん議論をいただいて事業の上で取り上げていきたい。

(質問：C) 環境先進都市として山形市は頑張っているが、具体的に、私たちがどのように事業に参画して協力していくのか。情報を吸い上げてと考えているようだが、その情報をどこでどのように練り上げて会の運営に反映させていくのか。組織はどのようにしていくのか。

(議長) 会場でいただいた意見をふまえながら、これからの運営にあたっていくとで了解願いたい。今後は役員も増やし、折角のこの集まった力を

地区ごとサークルごとに、もっと吸い上げていくような論議をこの後の役員総会で取り上げていくことをお約束する。

(質問：D) ホームページは「なんたっすやまがた」とは独立したものとして立ち上げをするのか。

(回答) 会員の皆さんのご意見を吸い上げながら立ち上げていく考えではあるが、現在想定しているものは、独立したものを考えている。リンクさせることも検討しているが、会としては独自のものを考えている。

(質問：D) 山形の中で実際ホームページを利用している人が何割いるのか。多額の予算をかけてホームページを作成する必要があるのか。実際にインターネットを使用している人の実態を分かった上での計画を立ててほしい。

(意見：A) 年配の方でホームページを利用している方は少ないだろうが、若い人を一緒に巻き込むという考えでは、ホームページは必要と思われる。是非立ち上げてもらいたい。